

## 2020年度 第3回総合診療専門医検討委員会（通算22回）

### 議事録

開催日時 令和2年6月11日（金）18時00分～19時30分

開催場所 Webまたは日本専門医機構 会議室

出席者 理事長 寺本 民生  
委員長 羽鳥 裕  
副委員長 竹村 洋典

Web出席者 委員 生坂 政臣 石松 伸一 井上 健一郎 太田 光泰 大平 善之  
大生 定義 金丸 吉昌 北村 聖 草場 鉄周 清水 俊明  
菅原 正弘 園田 幸生 田妻 進 野村 英樹 邊見 公雄  
前野 哲博 山田 隆司 横山 彰仁 吉田 素文  
オブザーバー 厚生労働省

欠席者 委員 浅井 文和 有岡 宏子 有賀 徹 清水 貴子 塚田 弥生  
渡辺 毅

議事に先立ち、寺本理事長より開会の挨拶があった。今季最後の委員会であり、まとめとして次期に一定の方向性を提示できるような会にしたいとお話があった。

#### 議題

##### 協議事項

1. 「地域医療を学ぶ研修に適した地域」の研修する地域について（資料1-1～1-3）
  - ・「地域医療を学ぶ研修に適した地域」について、基準が資料1-2により明示された。厚生労働省のオブザーバーより、医師少数区域について、資料1-2の医師偏在指標の基準とする機構が認識している医師少数区域と齟齬があり、対象となる地域が狭まるのではないかと懸念が示された。
  - ・研修プログラムの一次審査基準を改定することで実施する案が出され、承諾を得た。

管理施設としての大学病院の要件について(全国大学総合診療部門連絡協議会へのアンケート)（資料1-4）

- ・大学病院の施設要件について、入院患者の診療につき専門研修I、IIの施設を合算し、プログラム全体で「入院患者総数20名以上/月」を担保する案が出され、承諾された。
2. 総合診療専門医移行措置(案)について（資料1-5）
    - ・2021年から2025年という期限が承認された。
    - ・臨床経験10年以上が対象者とあるが年数経験という視点だけでなく、総合診療専門医として必須の小児科、救急を3か月相当、カリキュラムやコンテンツにて履修する要素を織り込むことで合意を得た。

3. 2021年度プログラム申請について

- ・2021年度新規プログラムは11件申請があり、書類審査は「可」の旨報告があった。機構の審査スケジュールにより委員会メール決裁をとり、一次審査を可として二次審査に進めている旨報告があり、承諾を得た。
- ・変更・更新プログラムは、登録数412件に対して377件の申請があった。未申請プログラムについて

てはリマインドをかけ、回答がなければ「休止」とする案が出され、承諾された。

- ・3件の延長届、中断届1件、再開届1件、移籍届1件が承認された。  
寺本理事長より、日本専門医機構の指針に基づき、6か月の休止の場合に専攻医がカリキュラム制を選択できるよう整備指示があり、早急に対応することとなった。

4. 「総合診療」の英語名について (資料 5-1)

- ・「General Medicine」で承諾された。

5. 機構内の情報についての守秘義務誓約書について

- ・テキスト作成、試験作成に際し秘密保持等の守秘義務誓約書を早急に整えることが報告された。

6. その他

- ・「内科とのダブルボード検討」について (資料 2-1) (資料 2-2)  
内科学会より6月8日付で文書にて提案のあったダブルボード協議について、回答案が資料 2-1 として明示された。回答3案については下の通り示され、承諾された。

4) 既存総合内科専門医の総合診療専門医取得について

- ・第1回目の更新時に小児科的素養を含めることを示し、両者でのさらなる議論を必要と考えているという一文を入れて提案する。
- ・移行措置期間は総合診療専門医の移行措置と同様に5年と提案する。

5) 情報提供について、全プログラムの「基幹施設」「内科研修実施施設」「総合診療 II 実施施設」の一覧は事務局で作成するよう依頼があった。

6) 問題作成の在り方については、納品形式で進め、他、出題形式、内容などが確認され、単問で作成することで提案する。

- ・特任指導医認定証(案)が資料 3-2 にて示された。記載詳細については確認中だが、当形式にて作成を進めることが承認された。

- ・総合診療領域専攻医試験について、2021年9月に2日間にて開催、1日目は筆記試験、2日目は面接を実施する案が出され承諾を得た。また、設問についても資料 4-2 により明示され、公開することが承諾された。

- ・委員より、サブスペシャリティ領域の進捗状況について質問があった。

寺本委員長より、Covid-19 状況下で進展はないが、2021年4月より希望領域では開始できるよう進めているとの報告があった。

## 報告事項

1. 講習会とプログラム責任者会議・スキルアップセミナーについて (資料 3-1)

- ・6月21日(日)に、特任指導医講習会、プログラム統括責任者講習会をWEB開催することが報告された。受講者は事前にコンテンツを受講し、当日は質疑応答が行われる形式となった。いずれも、100名定員が即日満席になったため、次回第2回を7月19日に開催できるよう準備していることが報告された。
- ・また、同日、プログラム統括責任者会議を開催し総合診療領域のプログラム運営についても質疑応答を受けることが報告された。

2. J-GOAL 運用について

- ・J-GOAL 利用開始登録について、専攻医、プログラム統括責任者は完了し、指導医の登録については、順次進めている旨報告があった。
- ・JCS より、利用説明にて動画にて説明があった。

3. テキスト作成について (資料 4-1)

- ・章立て、小項目が決定し、執筆者の目途をつけ内諾をこれから得るという状況が報告された。
- ・これから出版社を決定することが報告された。

以上